

事務事業	130601	環境美化推進事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	130610 身近な環境に対する意識啓発	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民、市内通行者、小中学生、市民団体、企業等			

事務事業目的	環境美化に対する市民意識の高揚を図ります。
事務事業内容	環境美化に関するキャンペーンや、市民や地元企業とともに美化活動を行うアダプトプログラムを効果的に実施します。
実施形態	直営
成果指標	アダプトプログラム参加団体数 令和元年度実績：65団体
活動指標	(活動指標1) 歩きタバコ及びポイ捨て防止キャンペーン実施回数 令和元年度実績：3回

事業コスト計算

事務事業費予算額	395,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.22 人
事務事業費決算額	292,448 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.22 人
予定値		確定値	
直接事業費	395,000 円	直接事業費	292,448 円
人件費	1,813,329 円	人件費	1,779,009 円
総額	2,208,329 円	総額	2,071,457 円

見直し実績	費用対効果のため、アダプトプログラムの参加団体に配布する清掃用具の配布部数を精査した。	
事業評価	内部要因 外部要因	(ニーズ)環境美化に対する市民の関心は引き続き高い。 (弱み)会社の閉店や一部の団体では構成員の高齢化により活動が難しくなっている。
	必要性	環境美化に対する市民意識の高揚やモラルの向上を図るために、継続した啓発活動などの取り組みが必要である。
	効率性	自治会との連携やアダプトプログラム団体等への支援を通して、市民一人一人が率先して環境美化に取り組むよう働きかけている。
	方向性	環境美化に対する市民の関心が高いことから、行政経営上の強みであるホームページを活用した情報提供やパートナーの強みである各種団体等との連携を強化していく。また、アダプトプログラムへの参加団体が増えるように働きかけていく。

事務事業	130606	不法投棄防止対策事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	130610 身近な環境に対する意識啓発	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民			

事務事業目的	不法投棄を防止し、ごみの散乱のないきれいなまちの実現を目指します。
事務事業内容	関係機関との連携を図り、不法投棄物の撤去、監視活動等を実施します。
実施形態	一部委託
成果指標	不法投棄ゴミの撤去量 令和元年度実績： 11 t
活動指標	（活動指標 1）不法投棄パトロール実施回数 令和元年度実績： 23回

事業コスト計算

事務事業費予算額	4,241,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.58 人
事務事業費決算額	4,165,440 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.58 人
予定値		確定値	
直接事業費	4,241,000 円	直接事業費	4,165,440 円
人件費	4,780,594 円	人件費	4,690,114 円
総額	9,021,594 円	総額	8,855,554 円

見直し実績	事業の内容を精査し、より効果的な事業に重点をおくよう検討した。	
事業評価	内部要因 外部要因	(ニーズ)不法投棄に対するモラルの向上を図るための啓発等を望む市民は多い。 (弱み)市民意識の高揚やモラルの向上の効果が見えにくい。
	必要性	不法投棄の防止に向けた意識啓発と不法投棄されにくい環境を整備、維持していくことが必要である。
	効率性	市民団体等と連携して不法投棄物の早期発見や回収等を行うことで、市民等が監視することの役割の一端を担ってもらうよう働きかけている。
	方向性	不法投棄防止対策として、業務委託による監視パトロール及び速やかな不法投棄物の撤去を引き続き市が実施するとともに、パートナーの強みである市民団体等との連携を強化していく。

事務事業	130611	水辺環境美化活動事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	130620 水辺の環境美化活動の促進	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民、市民団体、企業等			

事務事業目的	市民の河川浄化意識を高めるとともに、河川の水質の向上を図ります。
事務事業内容	水辺環境の美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民の参画によるグリーン活動や市民・事業者の主体的な活動を促進します。
実施形態	直営・補助
成果指標	入間川・不老川クリーン作戦の参加者数 令和元年度実績： 550人（入間川クリーン作戦は新型コロナ感染防止のため中止）
活動指標	（活動指標 1）入間川・不老川クリーン作戦の実施回数 令和元年度実績： 550人（入間川クリーン作戦は新型コロナ感染防止のため中止）

事業コスト計算

事務事業費予算額	688,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.35 人
事務事業費決算額	621,693 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.32 人
予定値		確定値	
直接事業費	688,000 円	直接事業費	621,693 円
人件費	2,884,841 円	人件費	2,587,649 円
総額	3,572,841 円	総額	3,209,342 円

見直し実績	効率的な回収方法を実施したことにより、ごみの回収量が昨年より1トン増えた。	
事業評価	内部要因 外部要因	(ニーズ)河川周辺の環境美化に対する市民の関心は引き続き高い。 (弱み)水辺環境の美化に対する市民意識の高揚の効果が見えにくい。
	必要性	河川周辺の環境美化に対する市民意識の高揚やモラルの向上を図るために、市直営の入間川クリーン作戦、河川浄化団体による不老川クリーン作戦などの継続した活動は必要である。
	効率性	入間川クリーン作戦や不老川クリーン作戦では、流域の自治会や中学校に参加を呼びかけることにより、参加者が日常的に環境美化に取り組むよう働きかけている。また、河川管理者に対しても環境の保全が図られるよう働きかけている。
	方向性	河川周辺の環境美化に対する市民の関心が高いことから、行政経営上の強みであるホームページなどによるグリーン作戦への参加を引き続き呼びかけるとともにパートナーの強みであるアダプトプログラム団体等との連携を強化していく。